

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	心理学	1単位30時間	2年	非常勤講師

授業のねらい

この授業では、そのころに関する基礎的な知識や、これまでころはどのようなものとして説明されてきたのかを学び、自分自身や周りの他者、集団についてより多角的な視点から理解していくことを目指します。目標は、①自己や他者の理解に向けた心理学の学びを深めること、②心理学の理論を自分自身の生活と関連づけて理解すること、③心理学について学んだことを日常生活や看護臨床の場に適用できるようになることです。人のころを対象にした学問である心理学について、さまざまな角度から学んでいきます。

授業計画

第1回	心理学とは
第2回	学習1
第3回	学習2／記憶1
第4回	記憶2
第5回	感覚と知覚
第6回	思考・言語・知能
第7回	感情と動機づけ
第8回	性格とパーソナリティ
第9回	社会と集団
第10回	発達1（乳児期・幼児期）
第11回	発達2（児童期～老年期）
第12回	心理臨床
第13回	医療・看護と心理1
第14回	医療・看護と心理2
第15回	試験

授業方法 講義

教科書 系統看護学講座 基礎分野 心理学：医学書院

評価方法 定期試験により行う。

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	教育学	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

1. 教育と看護に共通する特性から、人間の発達に対する理解を深める。
2. 生涯教育としての自己教育の在り方を考える。
3. 教育の現状と課題を学び、ディスカッションを通じて自分の考えを表現する。

授業計画

- 第1回 教育の特性①:教えることと学ぶこと
- 第2回 教育の特性②:社会のなかの教育と看護
- 第3回 教育の特性③:子ども観と発達
- 第4回 教育とケア①:教育の受け手を見まもる
- 第5回 教育とケア②:教育を受けて成長する
- 第6回 教育の制度と仕組み①:家庭と学校
- 第7回 教育の制度と仕組み②:教育の場の変動
- 第8回 現代教育の課題①:キャリア教育
- 第9回 現代教育の課題②:ジェンダーとセクシュアリティ
- 第10回 現代教育の課題③:特別ニーズ教育・インクルーシヴ教育
- 第11回 現代教育の課題④:生涯学習
- 第12回 現代教育の課題⑤:シティズンシップ教育
- 第13回 グループ発表準備①
- 第14回 グループ発表準備②
- 第15回 授業のまとめ:グループ発表

授業方法 講義

教科書 系統看護学講座 基礎分野 教育学 : 医学書院、配布資料

評価方法 毎回のミニレポートと最終レポートによる総合評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	哲学	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

哲学は人間が自己と世界を総体的に把握しようとする知の営みの一つである。この授業では、人間として生きる上で関わる多様な物事を原理的に把握する思考へ向かうことによって、私たちが人間としてどのように生きるべきかを幅広く考えることをねらいとしている。

授業計画

第1回	哲学とは
第2回	人間とは
第3回	人間とは
第4回	社会とは
第5回	社会とは
第6回	自然とは
第7回	自然とは
第8回	生命と自由とは
第9回	生命と自由とは
第10回	情報とは
第11回	情報とは
第12回	生命倫理
第13回	生命倫理
第14回	人間の哲学とは
第15回	人間の哲学とは

授業方法	講義
教科書	授業時に資料を配布する。
評価方法	小テスト50%、読書レポート20%、課題レポート30%

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	情報科学	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

高度情報化社会におけるニーズおよびコンピュータの利用について基本的なルールおよび情報リテラシーを習得することを目標とする。特に、Excel、Word、PowerPointについては具体的な使い方を学習し、データ整理、ドキュメントの作成、プレゼンテーションの仕方を習得する。

- 第1回 情報科学概論Ⅰ（「情報」とは）
- 第2回 コンピュータに関する基礎知識
- 第3回 PCの基本操作
- 第4回 情報科学概論Ⅱ（情報リテラシー他）
- 第5回 Excelによる統計解析①
- 第6回 社会・保健医療・看護と情報
- 第7回 Excelによる統計解析②
- 第8回 医療における情報システム
- 第9回 Excelによる統計解析③
- 第10回 情報倫理と医療/個人情報保護
- 第11回 Excelによる統計解析④
- 第12回 Wordの使い方①
- 第13回 Wordの使い方②
- 第14回 PowerPointの使い方①
- 第15回 PowerPointの使い方②

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 別巻 看護情報学：医学書院

評価方法 レポートおよび出席状況

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	文章表現	1単位15時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

日本語表現の基礎的な知識と読解に関する基礎的な力量を習得することをねらいとする。具体的には、文章の読解と要約を実施するとともに、レポート作成に必要な基礎的な知識と技能を習得するために文章・レポート作成を実施し、さらにプレゼンテーションに必要な基礎的な知識と技能の向上のために発表原稿の作成を行う。これによって、文章表現における看護師としての基礎的な技能を習得することが期待される。

授業計画

第1回	授業ガイダンス:言語と日本語
第2回	日本語の文章表現について:論理と接続表現
第3回	文章の読解1:読み方
第4回	文章の読解2:要約
第5回	文章の作成1:文章の種類
第6回	文章の作成2:レポート作成
第7回	発表1:プレゼンの仕方
第8回	発表2:プレゼンの実際

授業方法

- (1)本授業では、授業計画にある日本語表現の基本的技能を学ぶ。
- (2)テキストの読解と文章表現および発表についての基礎的な知識と技能に親し
- (3)そのために、要約の作成、レポート作成、パワーポイントスライドの作成などを
- (4)授業終了後に最終レポートを課す。

教科書 授業時に資料を配布する。

評価方法	各種の課題	70%
	最終レポート	30%

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	英語 I	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

国際時代に対応する能力育成のために英会話の基礎を学ぶ。

授業計画

第1回	Greeting, class information, student information, icebreakers
第2回	Who are you? (ch.A)
第3回	Sports and hobbies (ch.B)
第4回	Friends(ch.C)
第5回	Food and drink(ch.D)
第6回	Lifestyle(ch.E)
第7回	Family(ch.F)/ Midterm test
第8回	Clothing(ch.G)
第9回	Travel and holidays(ch.H)
第10回	A trip abroad(ch.I)
第11回	Mysteries(ch.J)
第12回	Education(ch.L)
第13回	The future(ch.O) / test practice time
第14回	Final speaking tests
第15回	Post-summer speaking activities/ Class wrap-up

授業方法 英会話

教科書 Octopus Activities : Perceptia Press

評価方法 英会話評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	英語Ⅱ	2単位45時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

- 1、他の国々への知見を深め、国際的視野を広げる
- 2、看護現場で必要となる基本的な語彙・表現を繰り返し学習し、特に正しい発音に重点を置いた授業を展開する。

授業計画

第1回	クラス紹介、テキスト紹介、自己紹介、
第2回	Chapter 1 : Greeting and Registration
第3回	Chapter 1 / Vocabulary Quiz 1
第4回	Chapter 2 : Hospital Departments / Directions
第5回	Chapter 2 / Vocabulary Quiz 2
第6回	Chapter 3 : Vital Signs / Medical Questionnaire
第7回	Chapter 3 / Vocabulary Quiz 3
第8回	Chapter 4 : Internal Medicine (1)
第9回	Chapter 4 / Vocabulary Quiz 4
第10回	Chapter 5 : Internal Medicine (2)
第11回	Chapter 5 / Vocabulary Quiz 5
第12回	Chapter 6 : Internal Medicine (3)
第13回	Chapter 6 / Vocabulary Quiz 6
第14回	Chapter 7 : Urology
第15回	Chapter 7 / Vocabulary Quiz 7
第16回	Chapter 8 : Surgery / Orthopedics
第17回	Chapter 8 / Vocabulary Quiz 8
第18回	Chapter 9 : OB-GYN (Obstetrics and Gynecology)
第19回	Chapter 9 / Vocabulary Quiz 9
第20回	Chapter 10 : Pediatrics
第21回	Chapter 10 / Vocabulary Quiz 10
第22回	Final Assignment Introduction and Preparation
第23回	Final Assignment

授業方法

講義・英会話

教科書

看護英語の練習帳—インプットからアウトプットへ : 萌文書林

評価方法

2週間ごとに単語小テストです。最後の2週間はスピーキングの課題です。

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	人間関係論 I	1単位20時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

体験学習を通して、各々の五感・感情や考え方、体の使い方はそれぞれ異なることを実感し、自他の違いと共通点について理解を深める。体験学習後は、言葉や図による振り返りを行い、互いの体験を分かち合う。自他の違いや共通点を言語化し、自己と他者との関係のありように気づき、自己洞察、他者理解を深める。

授業計画

- 第1回 【自己を知る】身心一如の観点から自己肯定度質問紙、各人の全身写真の撮影を実施(初日と最終日)し、自己理解の一助とする。自分自身の考え方や身体的な有りようにどのような癖や特徴があるのかを掴む。
- 第2回 【感覚の覚醒】基本的なからだの動きや呼吸、からだの動きを通して、行住坐臥を整え、どのようにからだどころのつながっているのかを実感し、自己理解を深める。
- 第3回 【マインドマップ】体験学習の振り返方法の一つとして、マインドマップを作成し図にすることで、俯瞰的に自他の体験を捉える助けとする。 随時、体験学習後の振り返りに活用する。
- 第4回 【自然と関わる】私たちは周囲(人、環境・自然)と、どのように関わりあっているのか。どのように影響を与え、どのように影響を受けているのか、その相互性を実感し、自然の一部である人間を探求する。
- 第5回 【ムーブメント】言葉だけでなく、表情や声・仕草など体の動き等の身体表現・表出を通して、人は影響しあっている。互いにどのような表出・表現をによって、影響を与え、影響を受けあっているのかを体験する。安心感や不安はどのようなときに感じられるのか。
- 第6回 【卵は立つのか】卵の実験を通して、感情や考えとからだ・行動のつながり、自分と他者、環境との関わりを探求する。
- 第7回 【バランスのとれた休息】休息の質が呼吸や活動、睡眠の質にどのように影響し、身心の調え方に変化を起こすのかどうかを探求する。
- 第8回 【与える受け取る】言葉だけでなく、まるごとのからだ(表情・姿勢・声・仕草など)によって、相互に影響を与えあい、関わり合っていることを探求する。
- 第9回 【目隠し歩き】環境の中で、身心一如であるまるごとの自分を相手に預ける、預けられるという体験を通して、不安や安心、信頼や不信はどのように生まれるのか体感してみる。
- 第10回 【手当】他者のからだに手をあててみる。他者に触れ触れられる体験を通し、互いの身心の様子を感じ共にいることを具体的に実感する。

教科書 レジュメを配布

評価方法 参加状況とレポートによる総合評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	人間関係論Ⅱ	1単位20時間	3年後期	非常勤講師

授業のねらい

臨地実習での具体的な看護体験もふまえ、自分と他者、環境との相互的な影響について、自他の生活歴等も視野に入れた理解を深める。ことば、思いとからだ(表情・姿勢・動作等)は深くつながっている。話す言葉と同時に姿勢自体が語ることばにも注目し自他への理解を深める。触れることの意味、傾聴することの価値などを明確化する。

授業計画

- 第1回 【感覚の覚醒・動き】呼吸の様子、体の動きを通して自他の習慣的な癖(体・感情・考え方)の有りを掴み理解する。また体の動きの全体的なバランスを調えることがどのようにで身心への影響するのかを実感する
- 第2回 【自然との対話】自然・環境との関わりを通して、どのような相互性があるのかを実感する
- 第3回 【マイシルエットの創作と鑑賞】自分のシルエットを素材にして、自分を表現してみる。他者のシルエット作品を鑑賞し、そこに表れた思いや創作過程を洞察する。
- 第4回 【群像】集団の中の一人として、他者の身体表現を読み取り、かつ自分を身体表現を通して、他者に伝える。表現に必要なものは何か探求。また意図せずに伝わる表出にも注意を向けることが重要。
- 第5回 【与える受け取る】触れる触れられる、その具体的な関わりの方によって、相互に影響しあうことを探求する。
- 第6回 【バランスの取れた休息】休息の質が、身心の調え方や生活のリズムにどのような影響を与えのか、探求する。自分自身へのケアの必要性を考える。
- 第7回 【ムーブメント ミラーリング】互いに真似ることを通して、理解、共感、尊重する、その相互性を探究する。
- 第8回 【いのちの旅】人として全人的に人に関わるとはどういうことなのか、その感性を探究する。

教科書 レジュメを配布

評価方法 参加状況とレポートによる総合評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	社会学	1単位30時間	2年前期	非常勤講師

授業のねらい

社会学の基本的な概念と理論を勉強し、発想の特徴を理解する。そして、社会学の異なる見方を学び、社会問題や社会課題についての思考力を高める。

授業計画

- 第1回 「社会学」の想像力と社会調査法
- 第2回 近代から現代へ：家族の変容と保健医療
- 第3回 多様化する性の概念
- 第4回 教育の役割と文化的再生産
- 第5回 労働と職業と健康
- 第6回 階級と階層：格差と社会的排除
- 第7回 少子高齢化社会と社会保障・福祉
- 第8回 地域社会・コミュニティとソーシャルキャピタル
- 第9回 グローバリゼーションと反グローバリズム
- 第10回 政治と社会運動
- 第11回 メディアとコミュニケーション
- 第12回 宗教と行為
- 第13回 社会学の見方と健康・病気の見方
- 第14回 災害とストレス
- 第15回 まとめ

授業方法 講義

教科書 アンビシャス社会学：北海道大学出版会

評価方法 ミニレポート60%と期末レポート40%により評価する。

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	現代社会と家族	1単位15時間	2年後期	非常勤講師

授業のねらい

現代社会を取り巻く社会的な状況が変化してきています。また今日は家族形態もさまざまです。まずは自分たちのまわりの身近な現代社会に目を向け、知ることからはじめ、そこから現代家族を取り巻く環境を理解したいと思います。多様化する家族の現代的課題に向き合い、時に多職種連携により包括的に支援していく視点についても考えながら、これから求められる家族支援のあり方について考えていきたいと思います。

授業計画

第1回	オリエンテーション	家族とは
第2回	家族とは	多様化する家族
第3回	少子高齢化がもたらす影響	
第4回	家族の機能と役割	
第5回	家族を取り巻く社会の動向	
第6回	現代家族で抱える悩み	
第7回	専門職としての家族支援(多様な支援の展開と関係機関との連携)	
第8回	1時間	家族支援のこれから

授業方法 講義・グループワーク

教科書 使用しない 適宜、参考資料(プリント)配布

評価方法 授業への参加意欲や授業ごとの振り返り・課題に対する取り組み、まとめの試験により総合的に評価します

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	運動と健康	1単位15時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

身体活動が人の身体にどのような変化を及ぼすのかを学習し、人の健康との関連について理解する。また、身体を動かす楽しさを知り、コミュニケーションや人間性の向上を図る。また、自分自身についての健康と運動を考え、日常生活での運動を取り入れる方法を学ぶ。

授業計画

- 第1回 健康についての理解をし、自分自身の身体について知る。
- 第2回 簡易的な体力測定の実施 心拍数と運動の関係について
- 第3回 ニュースポーツ紹介①(ドッチビー・キャッチ・スティック等)
- 第4回 ニュースポーツ紹介②(ボッチャ・ドッジボール)
- 第5回 レクリエーションを取り入れた対象に合わせた運動遊び
- 第6回 幼児から高齢者ができる運動や運動遊び バレーボール
- 第7回 身近な道具を使用した運動について ニュースポーツ紹介③(モルック)
- 第8回 1時間 まとめ(自分自身の運動と健康の関係性について考える)

授業方法 講義、実技

教科書 指定しない

評価方法 実技・授業内レポート・出席状況、授業態度等を総合的に評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
基礎分野	体育	1単位30時間	2年前期	非常勤講師

授業のねらい

スポーツを通して身体を動かす楽しさを知る。また、高齢化が進む現代社会における様々な健康障害要因について学び、青年期から健康に関心を持つ重要性を理解する。さらに、さまざまなスポーツを体験し、自ら実践できる力を身につける。

授業計画

- 第1回 簡易的な体力測定
- 第2回 高齢者のレクリエーションや運動遊び①バレーボール
- 第3回 野外活動の計画(ウォークラリーの問題作成)
- 第4回 高齢者のレクリエーションや運動遊び②
- 第5回 野外活動の計画①(ウォークラリーの問題作成) コンディショニング
- 第6回 野外活動の計画②(ウォークラリーの問題作成)
- 第7回 野外活動の実施 ウォークラリー
- 第8回 対象者に合わせた道具を使用した運動・レクリエーション・ニュースポーツ
- 第9回 体育大会の実施(バスケットボール)
- 第10回 体育大会の実施(バレーボール①)
- 第11回 体育大会の実施(バレーボール②)
- 第12回 体育大会の実施(バドミントン)
- 第13回 対象者の目的に合わせた運動プログラム計画
- 第14回 対象者の目的に合わせた運動プログラム実践①
- 第15回 対象者の目的に合わせた運動プログラム実践②・まとめ

- 授業方法 実技
- 教科書 指定しない
- 評価方法 レポート作成、プログラム作成、出席状況、授業態度等を総合的に評価